



しあわせ

HAPPY NETWORK

No.32 令和3年3月発行

発行
守山市民生委員児童委員協議会
編集：広報研修委員会
事務局：守山市社会福祉協議会
住所：守山市下之郷三丁目2番5号

身近な相談役 民生委員・児童委員



日頃から民生委員・児童委員の皆様が地域の「身近な相談役」としてご尽力頂いておりますこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大の中でも、感染予防のための創意工夫を凝らし新しい生活様式に即した方法で、住民同士の「つながり」を途切れさせないよう日々ご活動頂いていること、深く感謝申し上げます。

さて、本市は昨年市制50周年を迎えることができました。そこで、新たに50年先の「豊かな田

守山市健康福祉部 部長 木村 勝之

園都市」を目指し、市民の皆様とともに歩みを進めているところでございます。

そのような中、地域福祉においては様々な世代や立場の方々が互いに支えあう「地域共生社会」を実現するべく取組を進めているところであり、委員の皆様の日々のご活躍は地域福祉の支え手として、また共生社会を具現化する大きな力になるものと、大いに期待しているところでございます。

未だコロナ禍が続く中ではありますが、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中部地区地域包括支援センターの開所について

令和3年4月1日より中部地区地域包括支援センターが開所します。吉身学区、玉津学区の高齢者の皆さまの健康づくりや介護予防、介護に関する相談などに対し、専門的な知識を持った社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等が相談をお受けすることになります。

守山市から社会福祉法人守山市社会福祉協議会が委託を受け、事務所はすこやかセンター2階となっております。電話番号などの連絡先は改めて社会福祉協議会の広報などでお知らせいたします。

問合せ先
社会福祉法人守山市社会福祉協議会
電話 583-2923



中部地区地域包括支援センター
所長 山口 勉さん

民生委員・児童 委員 活動紹介

吉身学区



高齢者的人権問題学習会開催 「知っておきたい相続・遺言書・成年後見制度」

民生委員・児童委員活動の一環として、今年度は高齢者的人権問題について学習会を開催いたしました。

近年の家族構成の現状から見て、これらの課題でもある相続問題は、時として「争族」「争続」と言われる問題もあります。それらを無くす手法として「遺言書」や「エンディングノート」の活用を知ることや、その違いについても理解しておく必要と、成年後見人制度（法定後見と任意後見）の利用についても学習しました。

小津学区



子どもの人権について

河西小学校の野村校長先生を迎えて子どもの人権について研修を受けました。

先生は得意な落語とパワーポイントで講演をされました。

保護者からの虐待、学校でのいじめや無視、周囲からの差別等から子どもを守るには、コミュニケーションが必要不可欠と話されました。コミュニケーションは、個々人の考え方の多様性を確認し、人と人との繋がりを大切にするための最善の手段だと学びました。

保護者、学校とも連携を図り、あいさつや声かけを通して子どもたちを見守りたいと思います。

守山学区

赤ちゃん訪問活動

民生委員・児童委員の改選からこの1年間で、守山学区では延べ500名余りの赤ちゃんを訪問しました。

突然のコロナ流行に大きな戸惑いを感じながらも、私たちはさまざまな対策を講じ訪問を実施してきました。

今後も「赤ちゃんの誕生をお祝いする気持ち」を忘れず、ご家庭が安心して子育てをできるための心の支えとして、赤ちゃんの笑顔に心を和ませつつ、この活動を継続していきたいと思います。



中洲学区



宮津への研修を終えて

かつて洪水が頻発し、「近江太郎」と呼ばれた野洲川に放水路が完成（1979年）したことでの大きな水害に見舞われることは少なくなりました。しかし、近年の気象状況の変化で、学区のほぼ中央を放水路が流れることによる水害への危機意識は高まる一方です。

そこで、学区民協では「有事の際の対応のあり方について研修を!」と言う思いで、宮津市社協に行くことにしました。大きな災害に三度見舞われた際の具体的な対応について「自分達の町は、自分達で守る」という意識の構築と、「つながり」の大切さを学ばせていただきました。

玉津学区



共同募金

11月6日（金）午前10時から玉津学区民生委員・児童委員がJA直売所おうみんちに於いて共同募金活動をしました。

コロナウイルス対策で三密を避けて、フェイスシールド、マスク着用となりましたが、皆様の温かいご支援でたくさん募金をしていただきました。

共同募金は学区や自治会の地域福祉活動の推進に活用されます。

ご協力ありがとうございました。

河西学区



見守り活動

河西学区には、こども園、幼稚園、小学校、中学校がそれぞれ1つずつあり、子どもたちの成長を継続して見守りやすい環境にあります。

「小学校入学児童お祝い訪問」、「小学校児童一斉下校見守り」、「中学生登下校時見守り」、「小学校1年生下校同行」、「あいさつ運動」などの活動を通して、「いつも私たちが見守っているよ。」という思いを伝えています。

速野学区

「思いやりゾーン」の指定を受け、交通事故「予防」の街づくり

令和2年4月から、速野学区全域が守山警察署より『思いやりゾーン』の指定を受けました。

警察官と民生委員・児童委員、福祉協力員と一緒に高齢者宅を訪問し、交通安全のチラシや反射材を配付、交通安全対策について、警察官からお話ししていただきました。

自宅周辺の「通り慣れた道路こそ危険」と意識することや、横断歩道を利用し、車の直前直後から横断しないこと、など事故にあわない、事故を起こさないための予防が大切です。

交通ルールを守り、無理をせず、ゆとりを持って、事故のない住みよい街づくりに取り組んでいます。



広報「しあわせ」では、『かけはし2019』に掲載している守山市内の障がい者施設で作られた商品や作業の様子をリレー形式でみんなさんにご紹介していきます。

ご存じですか？障がい者施設 vol.2

社会福祉法人もるどう会 あじさい園

「働くこと」これは全て人の願いであり、生きがいです。

あじさい園は障がいのある人に対して、仕事や日常生活の支援を行うことにより、秘められた力を伸ばし、より良い暮らしを獲得していただくことを目的としています。また仕事や行事を通して地域の方々と理解と交流を深め、ふれあいの和を広げていくことも大切にしています。



社会福祉法人もるどう会
あじさい園
守山市石田町364-2
TEL: 585-4626
FAX: 585-8899

編集 後記

昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大し、緊急事態宣言が発令されたことなどで、私たち民生委員・児童委員の見守り活動も思うようにできませんでした。しかし、こんな時こそ地域の方々とつながり、支え合って、子どもや高齢者の見守りを頑張らなければと思います。

先日、テレビである大学の先生が「できないことを考えるより、今までできることを考え行動することが大切」と話しておられました。私たち民生委員・児童委員も自らの健康に気を付け、今までできる活動をしていこうと思いました。

今年は、コロナウイルスが終息し、皆がマスク無しで笑い合える年になることを切に祈っています。

(間宮 京子 記)